

# 令和5年度 学力向上のための重点プラン

新宿区立津久戸小学校

中間評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 期末への方策等
<p>○児童アンケートで90%以上の児童が「先生の授業は分かりやすい」と答えている。</p> <p>○児童アンケートで88%の児童が「タブレット端末を活用して調べ、まとめ、表現している」と答えている。</p> <p>○日常的にタブレットPCを活用した授業を実施できている。また、様々なソフトなどを効果的に活用した振り返りが校内に広まった。</p> <p>▽児童がICTを活用して情報収集する力は向上したが、情報をまとめる際の情報活用ルールを身につけていない児童がいる。</p>	<p>●地域の施設や環境を生かした児童に身近なことから学習課題を設定できるような授業改善をしていく。</p> <p>●各学習を通して発達段階に応じたタブレット端末等の基本的操作技能やスキルを、身に付けられるようにする。</p> <p>●学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れる。</p> <p>▼ICTを活用する上での「マナーやきまり」に関してなど、タブレットPCの使用方法について確認する機会を設ける。</p>

期末評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
<p>○児童の「授業のわかりやすさ」に関する肯定的評価が前期より向上し、90.5%になった。</p> <p>○タブレット端末を活用した授業の児童評価は、前年度より上昇している。 R4 82.1% → R5 87.7%</p> <p>○タブレット端末の活用についての項目は、昨年度より下降しているが、目標値は越えている。津久戸の子は、本が好きなので、児童が、時と場合によって情報収集の方法を選択できるようになってきているからではないか。</p>	<p>▼各種学力テストの結果から鑑みると、図形・測定、データ活用に関する領域は、引き続き丁寧に指導を重ねる必要があると言える。</p> <p>●生活科や総合的な学習以外でも、様々な教科で、児童自ら課題を見付け、協働的な学びから課題解決していく学習内容が出来ている。今後も工夫して取り入れ、実践する。</p> <p>▼今年度の成果を生かし、教科や単元のどの場面でICT機器を活用していくか考え、協働学習支援ツールで児童が思考をまとめる機会を増やしていく</p> <p>●児童のICT機器活用技術が向上してきたので、現在の取組を継続し、楽しみながら向上していく学習計画や内容を考え実践していく必要がある。</p>